



第 3 章

生涯活躍のまちづくり (健康・福祉)

10年後に 目指す姿

充実した医療福祉環境のもと、生涯を通じた心や体の健康づくりを推進するとともに、誰もが自分らしく生きがいを持ち、共に支え合いながら活躍できるまちを目指します。

重点テーマ

生涯にわたる健康の維持

重点施策

- 1 共生社会の推進
- 2 健康づくりと介護予防の推進

共生社会の推進



目標

地域内の保健・医療・福祉のサービスを一体的に提供することで、一人ひとりが住み慣れた地域で安心して暮らし続け、生涯にわたって活躍できる希望をもたらします

現状と課題

本市の地域特性を活かした保健・医療の体制整備や地域福祉の担い手の充実により、個人の特性に応じて市民の健康的な生活を支えることが求められています

市民に期待する役割

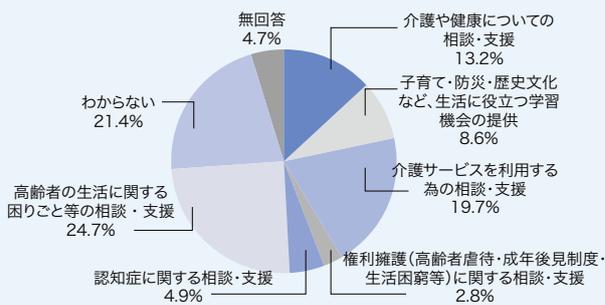
- 住民同士の交流・見守り・支え合い
- 地域行事への参加等を通じた関係づくり
- 障害や認知症への理解

企業・団体に期待する役割

- 強みを活かした地域課題への貢献
- 障害者の雇用
- 地域の新たな価値に繋がる企業活動
- 障害者就労施設への発注

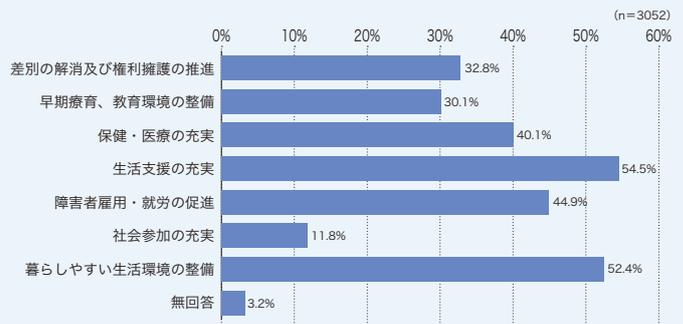
関連データ

【市民アンケート「高齢者が安心して暮らし続けるために、地域包括支援センターに期待するものはありますか?」】



出典：2023年度市民アンケート

【市民アンケート「障害者が地域で暮らしやすい、共生社会実現のためには、どのような取組が必要だと思いますか?」】



出典：2023年度市民アンケート

(14) 地域包括ケアシステムの推進

成果指標

地域包括支援センターにおける総合相談実件数(年間)

実績(2017)

6,500件

現状(2023)

8,149件

目標(2027)

8,400件

1 | 在宅医療・介護連携推進事業

- ・医療機関・介護事業所職員を対象とした相談業務・研修会
- ・地域課題の抽出と対応策の検討等を目的とした会議の開催

直接成果

医療・介護における専門職団体の連携体制が強化される状態

中間成果

高齢者が気軽に必要とする支援を受けられるようになる状態

2 | 地域ケア会議・生活支援体制整備事業

- ・地域ケア会議の開催
- ・町社協をはじめとする地域活動支援(企画会議、事業説明、意見交換会等の実施)

直接成果

高齢者が介護予防教室や生活支援活動に参加するようになる状態

中間成果

高齢者が孤立せずに地域住民との繋がりを維持できる状態

3 | 地域包括支援センター運営事業

- ・地域包括支援センターの運営
- ・総合相談・支援業務等の地域支援事業
- ・委託包括職員に対する研修会
- ・高齢者虐待相談対応

直接成果

地域包括支援センターが高齢者の相談窓口として活用される状態

中間成果

高齢者が安心して相談やサービスを受けることができるとともに、行政が地域の課題をキャッチする状態

最終成果(施策の方向性)

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる状態を目指します



(15) 多様性社会の推進

成果
指標

人権教室における参加者の理解度

実績(2017)

—%

現状(2023)

99%

目標(2027)

100%

Well
Being

「暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる」について「非常にあてはまる」「ある程度あてはまる」と答えた人の割合

実績(2017)

—%

現状(2023)

31%

目標(2027)

35%

Well
Being

「私は、町内(集落)の人が困っていたら手助けをする」について「非常にあてはまる」「ある程度あてはまる」と答えた人の割合

実績(2017)

—%

現状(2023)

53.5%

目標(2027)

55.5%

1 | 多様性理解促進事業

- ・多様性に関する啓発活動
- ・人権啓発活動の実施
- ・様々な状況にある人や文化の情報提供による理解促進

直接成果

自分と異なる人の状況や障害特性を知る機会があり、自分と他人が違うことを理解している状態

中間成果

立場が異なる人同士が気軽にコミュニケーションが取れる状態

最終成果(施策の方向性)

国籍や性別、障害の有無などに対する理解が進み、地域の中で支え合いと交流が生まれている状態を目指します

2 | 相談支援連携事業

- ・スムーズな共助に繋げるための情報整理
- ・相談内容に応じた横の連携
- ・めぶくコミュニティの推進

直接成果

困りごとがあった場合に、支援を受ける人・支援する人の双方が、どこへ相談・共有したらいかがわかっている状態

中間成果

支援が必要な人が安心して周りの人に発信できる状態

成果
指標

障害者就労施設から一般就労へ移行した人数(年間)

実績(2017)

17人

現状(2023)

35人

目標(2027)

40人

成果
指標

市役所(市長部局)における障害者雇用率

実績(2019)

2.07%

現状(2023)

2.58%

目標(2027)

3.0%

1 | 障害者就労支援・雇用促進事業

- ・就労移行支援等(移行・定着)
- ・優先調達の推進
- ・障害者就労支援セミナー
- ・障害者雇用の奨励

直接成果

障害者雇用が進み、障害者の収入が増えている状態

中間成果

自立して生活する障害者が増えている状態

2 | 相談支援事業

- ・障害者や家族からの相談を受ける委託相談支援専門所の整備
- ・相談支援専門員の確保及び人材育成

直接成果

障害者が困ったときの相談先が身近に整備されている状態

中間成果

障害者やその家族が困りごとの相談先を把握している状態

最終成果(施策の方向性)

障害者が障害の有無によって分け隔てられることなく、安心して地域の中で暮らしている状態を目指します

3 | インクルーシブ機運醸成事業

- ・福祉理解促進の広報・啓発イベント実施
- ・まえばしインクルーシブスポーツフェスタの開催
- ・SOCIAL グッズプロジェクト事業の実施
- ・手話教室・要約筆記体験教室

直接成果

障害者がイベントなどに参加できる機会が提供されている状態

中間成果

障害者も一緒になって、多種多様な人が活動する機会が増えている状態

関連する個別計画

県都まえばし創生プラン、まえばしwindプラン・第5次前橋市男女共同参画基本計画、前橋市地域福祉計画・前橋市地域福祉活動計画、まえばしスマイルプラン、前橋はーとふるプラン、前橋市障害福祉計画及び前橋市障害児福祉計画、健康まえばし21、第2次人権教育・啓発の推進に関する前橋市基本計画

健康づくりと介護予防の推進



目標

予防から治療までの支援を切れ目なく行い、一人ひとりの心身の健康が守られている暮らしをもたらします

現状と課題

健康で豊かな生活の実現のため、生活習慣病や心の病気、感染症を予防する取組や支え合いが求められています

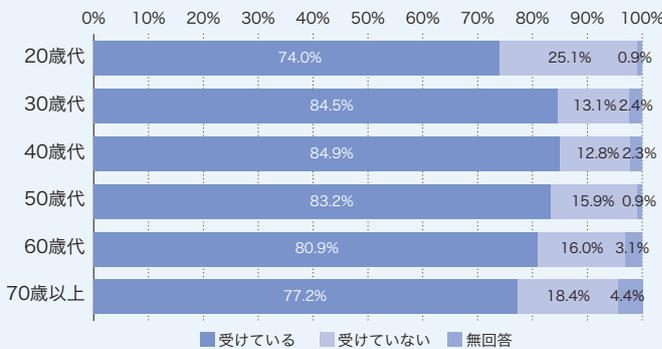
市民に期待する役割

- 健康を心がけた生活習慣の見直し
- 定期的な健康診断の受診
- 介護予防のための体操参加
- 地域の居場所づくり・支え合い

企業・団体に期待する役割

- 健康診査等の受診勧奨
- 従業員の健康増進・介護予防の推進
- 企業・団体における担い手の育成
- サービス従事者の雇用・定着促進

【市民アンケート「あなたは健康診断（検診）を受けていますか」】



出典：2023年度市民アンケート

【要介護等認定者数及び要介護認定率】



出典：老人福祉計画・第9期介護保険事業計画

(17) 心身の健康づくり事業の推進

成果指標

メタボリックシンドローム該当者の割合

実績(2017)

19.3%

現状(2023)

22.2%

目標(2027)

20.7%

成果指標

ゲートキーパー養成人数(累計)

実績(2017)

1,552人

現状(2023)

5,967人

目標(2027)

7,567人

1 | 健康増進・啓発事業

- ・健康ステップアップセミナー
- ・食の知識普及事業
- ・がん検診の周知・受診勧奨
- ・特定健診の申込みやすさの向上
- ・生活習慣病に関する情報提供

直接成果

市民が健康に関する知識を持ち、自身の健康状態を把握できる状態

中間成果

市民の健康への意識が向上し健康状態の維持・改善に向けた行動に取組んでいる状態

2 | 感染症予防事業

- ・予防接種の周知・接種勧奨
- ・感染症予防対策

直接成果

社会の中で交流を持ち、精神的にも肉体的にも健康でいられる状態

中間成果

市民が心身ともに安定して生きがいを持ち、人と支え合いながら安心して生活する状態

3 | 心の健康づくり事業

- ・ゲートキーパーの養成

最終成果 (施策の方向性)

市民一人ひとりが健康に関心を持ち、その人らしい生活が送れる社会を目指します



(18) 介護予防と高齢社会を支える人づくりの推進

成果
指標

介護予防に向けた体操（体操クラブ含む）参加者数（年間）

実績（2017）

100,404人

現状（2023）

109,276人

目標（2027）

113,276人

成果
指標

介護予防の担い手の実際の活動人数（年間）

実績（2017）

一人

現状（2023）

1,412人

目標（2027）

1,852人

1 | 介護予防活動事業

- ・ピンシャン体操クラブ立ち上げ・運営支援
- ・フレイル予防プログラム・フレイルチェック

直接成果

介護予防に参加する高齢者が増える状態

中間成果

高齢者が介護を必要としないで長生きできるように行動している状態

最終成果（施策の方向性）

地域の支え合いやつながりの中で、健康に生きがいを持って長生きできる社会（well-being）を目指します

2 | 担い手育成・支援事業

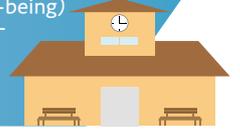
- ・介護予防サポーター・認知症サポーターの養成研修
- ・サービス従事者養成研修
- ・介護の入門的研修実施

直接成果

介護予防に関する知識・関心・当事者意識を持つ人が増える状態

中間成果

地域住民に介護予防支援活動の経験者が増える状態



関連する個別計画

県都まえばし創生プラン、前橋市地域福祉計画・前橋市地域福祉活動計画、まえばしスマイルプラン、健康まえばし21、元気まえばし食育プラン、前橋市自殺対策推進計画、前橋市国民健康保険データヘルス計画・前橋市国民健康保険特定健康診査等実施計画

